

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月28日

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	4,398	10.5	223	57.5	237	74.4	159	116.8
2020年12月期第1四半期	3,979	12.8	141	54.2	136	27.5	73	112.4

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 196百万円(192.9%) 2020年12月期第1四半期 66百万円(99.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年12月期第1四半期	18	41	—	—
2020年12月期第1四半期	8	49	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	6,529	—	1,662	—	24.7	—
2020年12月期	6,851	—	1,548	—	21.9	—

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,610百万円 2020年12月期 1,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	15,500	4.4	320	35.5	350	36.5	250	△19.4	28	84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	8,874,400株	2020年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	205,838株	2020年12月期	205,838株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	8,668,562株	2020年12月期1Q	8,668,632株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社又は各社等の登録商標又は商標です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

<当第1四半期連結累計期間の概況>

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、厳しい状況が続いております。日本においても、COVID-19拡大の収束時期を見通すことは難しく、引き続き、経済の先行き不透明感が強い状況にあります。

一方、当社グループを取り巻く事業環境においては、リモートワーク環境の整備、クラウド環境への移行など、デジタルトランスフォーメーション（DX）（\*1）への積極的な投資が継続しております。当社グループはこれを好機とし、さらなる事業成長を実現すべく、お客様のDX推進に資する高付加価値の製品・サービスを提供するとともに、連結子会社の再編統合に伴いクロスセリングの強化に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

#### ① オープンシステム基盤事業

COVID-19拡大を背景として、顧客におけるDXへの積極的な投資が継続しており、Red Hat Enterprise Linux(\*2)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(\*3)は好調な増収、主力自社製品である「LifeKeeper」(\*4)の国内向け販売は順調な増収となりました。これらにより、売上高は2,863百万円（前年同期比22.2%増）、セグメント利益は159百万円（同186.6%増）となりました。

#### ② アプリケーション事業

MFP向けソフトウェア(\*5)製品は、出荷本数が増加したこと、前期までにサブスクリプション(\*6)方式で契約した分が今期の売上に貢献したことにより、好調な増収となりました。「Gluegentシリーズ」(\*7)も好調な増収となりました。一方、システム開発・構築支援は金融機関向け、文教向けともに減収となりました。加えて、前期において放送局向けWebサービス事業及び社会公共アウトソーシングサービス事業を他社に移転したことにより、減収となりました。これらにより、売上高は1,535百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は64百万円（同25.6%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,398百万円（前年同期比10.5%増）となり、過去最高の四半期売上高となりました。利益面では、営業利益は223百万円（同57.5%増）、経常利益は237百万円（同74.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は159百万円（同116.8%増）となりました。

また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本+有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：243百万円（前年同期比47.5%増）

ROIC（年率換算数値）：26.2%（前年同期は17.7%）

#### (\*1) デジタルトランスフォーメーション（DX）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

#### (\*2) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

#### (\*3) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するオープンソースの製品。

#### (\*4) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(\*5) MFP向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(\*6) サブスクリプション

ソフトウェア等の製品・サービスの提供に対して、定期的に定額課金または従量課金するモデル。

(\*7) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、商品の減少486百万円等の要因により、5,732百万円（前連結会計年度末比5.4%減）となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加17百万円等の要因により、797百万円（同0.7%増）となりました。

この結果、総資産は、6,529百万円（同4.7%減）となりました。

②負債

流動負債は、買掛金の減少585百万円等の要因により、4,340百万円（前連結会計年度末比8.6%減）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少30百万円等の要因により、526百万円（同4.6%減）となりました。

この結果、負債合計は、4,867百万円（同8.2%減）となりました。

③純資産

純資産合計は、当四半期において親会社株主に帰属する四半期純利益159百万円を計上したこと等の要因により、1,662百万円（前連結会計年度末比7.4%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年2月3日に公表した「2020年12月期 決算短信」に記載の通りであり、変更しておりません。

なお、当第1四半期連結累計期間における売上高および各利益項目は順調に推移しておりますが、今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,858,289	2,648,683
受取手形及び売掛金	2,311,150	2,650,364
商品	491,228	4,353
仕掛品	26,741	18,147
前渡金	245,565	232,111
その他	127,097	178,549
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	6,059,872	5,732,009
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	76,527	76,260
その他（純額）	55,086	52,499
有形固定資産合計	131,614	128,760
無形固定資産		
ソフトウェア	110,467	103,870
その他	1,781	1,781
無形固定資産合計	112,249	105,651
投資その他の資産		
投資有価証券	233,775	251,527
退職給付に係る資産	47,093	52,239
差入保証金	193,996	190,185
その他	77,319	73,559
貸倒引当金	△4,221	△4,221
投資その他の資産合計	547,963	563,290
固定資産合計	791,826	797,702
資産合計	6,851,698	6,529,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,845,041	1,259,851
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	123,120	123,120
リース債務	7,099	6,733
未払法人税等	57,673	81,098
前受金	2,070,735	2,350,037
賞与引当金	35,328	—
受注損失引当金	604	191
その他	561,448	519,598
流動負債合計	4,751,052	4,340,631
固定負債		
長期借入金	290,500	259,720
退職給付に係る負債	241,315	247,898
リース債務	8,908	7,518
長期預り金	11,632	11,632
固定負債合計	552,357	526,769
負債合計	5,303,409	4,867,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	349,766	422,654
自己株式	△87,254	△87,254
株主資本合計	1,744,031	1,816,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,848	△4,513
為替換算調整勘定	△236,209	△202,048
その他の包括利益累計額合計	△243,057	△206,562
新株予約権	47,315	51,953
純資産合計	1,548,289	1,662,310
負債純資産合計	6,851,698	6,529,712

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,979,744	4,398,750
売上原価	2,784,278	3,138,799
売上総利益	1,195,466	1,259,951
販売費及び一般管理費	1,053,612	1,036,531
営業利益	141,853	223,419
営業外収益		
受取利息	2,939	1,098
為替差益	5,611	—
デリバティブ評価益	—	35,589
持分法による投資利益	—	16,216
その他	1,089	5,862
営業外収益合計	9,640	58,766
営業外費用		
支払利息	837	630
為替差損	—	43,523
投資事業組合運用損	1,269	—
デリバティブ評価損	646	—
持分法による投資損失	12,371	—
その他	—	232
営業外費用合計	15,125	44,386
経常利益	136,368	237,799
特別損失		
有形固定資産除却損	—	1,172
ゴルフ会員権評価損	268	—
特別損失合計	268	1,172
税金等調整前四半期純利益	136,100	236,627
法人税、住民税及び事業税	55,812	72,006
法人税等調整額	6,695	5,046
法人税等合計	62,508	77,053
四半期純利益	73,592	159,573
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,592	159,573

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	73,592	159,573
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,359	34,307
その他有価証券評価差額金	△3,312	2,334
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△147
その他の包括利益合計	△6,661	36,495
四半期包括利益	66,931	196,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,931	196,068

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,343,196	1,636,487	3,979,684	60	3,979,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,290	1,290	△1,290	—
計	2,343,196	1,637,778	3,980,975	△1,230	3,979,744
セグメント利益	55,501	86,291	141,793	60	141,853

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
3,814,897	116,817	31,608	16,421	3,979,744

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	アプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,863,457	1,535,143	4,398,600	150	4,398,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	829	6,881	7,710	△7,710	—
計	2,864,286	1,542,024	4,406,310	△7,560	4,398,750
セグメント利益	159,062	64,207	223,269	150	223,419

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (参考情報)

## 地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

## 売上高

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
4,246,076	84,609	51,015	17,048	4,398,750

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大が当社グループの業績に与える影響については、現時点で限定的であり、また、感染拡大傾向は当連結会計年度末にかけて逡減していくと仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、COVID-19拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績およびキャッシュフローに影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。